



東広会ニュース

7月号

2019年(令和元年)

Vol.181

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル10F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp

< 2019年度 第1四半期 媒体別売上実績 >

(単位: 百万円)

媒体		第1四半期			
		2019年度	2018年度	前年比	増減
車両メディア	中づり	1,013	1,128	89.8%	-115
	まど上・ドア上	765	832	92.0%	-67
	ドア横新B	949	1,020	93.0%	-71
	ステッカー	711	715	99.4%	-5
	ADトレイン・車体広告	290	293	98.9%	-3
	新幹線・ローカル・他社線	92	93	99.8%	-0
	車内デジタルサイネージ	2,185	2,116	103.3%	70
計		6,005	6,197	96.9%	-191
駅メディア	駅ポスター	456	502	90.8%	-46
	SPメディア	714	642	111.2%	72
	サインボード	1,810	1,896	95.4%	-87
	フリーペーパーラック 店舗ラッピング	130	137	94.7%	-7
	駅デジタルサイネージ	696	695	100.1%	1
計		3,805	3,873	98.3%	-67
メディア計		9,810	10,069	97.4%	-259
その他(工事 他)		11	20	55.6%	-9
総計		9,821	10,089	97.3%	-268

J企交通媒体本部 「2019年度第1四半期売上」まとまる

J企交通媒体本部の2019年度第1四半期の売上は、4月が103%、5月が98%、6月が91%となり、全体では98億2100万円、対前年97.3%となった。メディア別では、車両メディアは対前年96.9%で、駅メディアは対前年98.3%となった。

■車両メディア(実績60億5000万円、対前年96.9%)

『中づり』『まど上・ドア上』は、

大口出稿が減少したこと等により前年度を下回った。

『ドア横新B』は、割引販売等に

より前年度を下回った。

『ステッカー』『ADトレイン・車体広告』は、大口出稿が減少したこと等により前年度を下回った。

『車内デジタルサイネージ』は、「まど上チャンネル」の出稿増や企画商品の積極的な販売を行ったこと等により前年度を上回った。また「トレインチャンネル」では「紫外線情報」等の指数連動広告の展開や「トレインチャンネルおすすめNEWS」の展開が実施された。

■駅メディア(実績38億5000万円、対前年98.3%)

『駅ポスター』は、「一般ポスター」は前年度を上回ったが、「セット商品」が前年度を下回り、全体では前年度を下回った。

『SPメディア』は、「自動改札ステッカー」「イベント」は前年度を下回ったが、「集中貼り」「SPボード等」が前年度を上回り、全体では前年度を上回った。

『サインボード』は、川崎駅等での計画開発を行い、昨年度に引き続き「予約販売」等の販売に努めたが工事支障等により前年度を下回った。『駅デジタルサイネージ』は、大口出稿が増加したことや企画商品の積極的な販売を実施したこと等により前年度を上回った。

「車体広告」と「ホームドアシート」を活用した展開を実施

山手線「車体広告」10編成の展開にあわせて、山手線エリアの22駅で「ホームドアシート」を活用した展開が実施された。

広告主は株式会社スシローグロバルホールディングスである。

山手線10編成の車体をジャックできる山手線「車体広告」の展開にあわせて、品川駅、田町駅、有楽町駅、神田駅、秋葉原駅、御徒町駅、上野駅、鶯谷駅、日暮里駅、西日暮里駅、田端駅、駒込駅、巣鴨駅、大塚駅、池袋駅、高田馬場駅、代々木駅、原宿駅、恵比寿駅、目黒駅、五反田駅、



山手線車体広告

大崎駅で山手線ホームをジャックできる「ホームドアシート」を活用した広告展開が行われた。

山手線車体広告10編成と山手線エリア22駅の「ホームドアシート」を連動させることによりインパクトのある連続的な集中展開が行われ、今回の展開は山手線利用者の注目を浴びた。

展開期間は山手線「車体広告」が5月26日(日)から6月8日(土)まで、「ホームドアシート」が5月16日(木)から6月12日(水)まで。



恵比寿駅ホームドアシート

渋谷駅、横浜駅、大宮駅、川崎駅、立川駅のSPメディアを活用した展開を実施

渋谷駅で「集中貼り」「ハチコーボード3」、横浜駅で「横浜中央通路ライトアップシート」、大宮駅で「フラッグ」、川崎駅で「フラッグ」、立川駅で「横断幕」を活用した展開が実施された。

広告主はエン・ジャパン株式会社で、「エン転職」のPRが行われた。

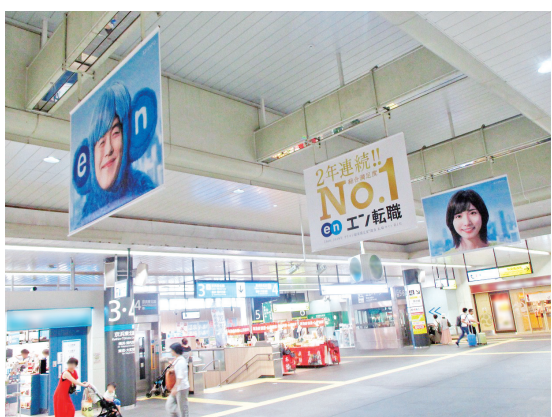
渋谷駅の山手線ホームにつながる階段等に集中掲出できる渋谷駅「集中貼り」、渋谷駅ハチ公口改札外壁面に大型サイズで掲出できる「ハチコーボード3」、横浜駅の中央南改札・中央北改札につながる中央通路の柱にライトアップされたシート広



渋谷駅集中貼り

告を掲出できる「横浜中央通路ライトアップシート」、大宮駅の中央改札外自由通路に大型サイズで掲出できる大宮駅「フラッグ」、川崎駅の改札内に連続した集中掲出ができる川崎駅「フラッグ」、立川駅東口改札内に掲出できる立川駅「横断幕」を活用した広告展開が行われた。

今回の展開は6月に実施され、渋谷駅、横浜駅、大宮駅、川崎駅、立川駅のSPメディアを連動させることにより、様々なシーンでの広告訴求が可能となり、インパクトのある集中展開が行われた。



川崎駅フラッグ

東京駅・新橋駅の「デジタルシートセット」と 車両・駅サイネージを活用した展開を実施

東京駅・新橋駅のデジタルシートセット「東京中央通路電照デジタルシートセット」「新橋地下通路デジタルシートセット」と「トレインチャネル」「J・ADビジョン」を活用した広告展開が実施された。

広告主は全日本空輸株式会社で、「ANA HAWAII」のPRが行われた。

東京駅中央通路でJ・ADビジョンとシート広告を同時展開できる「東京中央通路電照デジタルシートセット」と新橋駅汐留口改札外地下通路でJ・ADビジョンとシート広告を



東京中央通路電照デジタルシートセット

同時展開できる「新橋地下通路デジタルシートセット」の展開にあわせて、山手線等9路線の電車内ドア上部から放映できる「トレインチャネル」の他、品川駅改札外自由通路でサイネージによる集中放映ができる「J・ADビジョン（品川駅自由通路セット）」の展開が行われた。

展開は5月から6月にかけて実施され、駅サイネージと車両サイネージを連動させることにより電車内や駅構内等様々なシーンでの広告訴求が可能となり、インパクトのある広告展開が行われた。



新橋地下通路デジタルシートセット

田町駅で「横断幕」の展開を実施

田町駅改札外においてSPメディアの「横断幕」が展開された。広告主は株式会社栄光で、「栄光ゼミナール 田町校」のPRが行われた。

田町駅改札外の通路上部に大型サイズで掲出された今回の展開は、田町駅利用者の関心を集めた。

展開期間は5月24日(金)から6月20日(木)まで。



田町駅横断幕

山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線で「中つり貸切り」の展開を実施

山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線で「中つり貸切り」の広告展開が実施された。

広告主はフマキラー株式会社である。

山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線の1編成全ての中つりをジャックした今回の展開は、山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線利用者の注目を浴びた。

実施期間は「山手線中つり貸切り」が5月7日(火)から5月13日(月)まで、「中央線快速中つり貸切り」が5月13日(月)から5月19日(日)まで、「京浜東北線・根岸線中つり貸切り」が5月20日(月)から5月26日(日)まで。



中央線快速中つり貸切り

委員会名簿(順不同)

2019年7月

総務委員会 (7名)

委員長 神田橋 治 (株)TOMOE
 副委員長 細野 文隆 (株)ユニシン広告社
 副委員長 石原 能郎 (株)東広
 箕輪 正則 (株)鉄道広告(株)

車両メディア委員会 (20名)

委員長 杉本 公男 (株)協立広告(株)
 副委員長 細野 顕宏 (株)イットBコミュニケーション
 副委員長 大村寿一郎 (株)弘亜社
 副委員長 宮澤 由毅 (株)電通
 副委員長 塩入 純夫 (株)日本スタデオ
 芦刈 英雄 (株)TOMOE
 笹川 英哉 (株)オリコム
 渡部 清重 (株)ムサシノ広告社
 石毛 真哉 (株)春光社
 小野寺美紀子 (株)NKB
 富田 大祥 (株)電通
 成田 和宏 (株)日交
 打越 康彦 (株)博報堂Dマメディア
 浅野 昇 (株)ユニアド社
 那波 俊哉 (株)東急エージェンシー
 原田 真法 (株)文宣
 谷内 洋之 (株)シエール東日本企画
 中村 歩 (株)シエール東日本企画
 稲田 浩史 (株)シエール東日本企画
 金井 尊之 (株)シエール東日本企画
 交通媒体本部

駅メディア委員会 (19名)

委員長 田草川 滋 (株)ユニアド社
 副委員長 水野 勝太 (株)博報堂Dマメディア
 副委員長 中村 晃 (株)日交
 副委員長 望月 敏弘 (株)春光社

サインボード・安全委員会 (20名)

委員長 稲川 一 (株)文宣
 副委員長 中橋 光 (株)大晃
 副委員長 関 学 (株)星広告
 副委員長 高橋 源治 (株)共和企画
 外谷 敬之 (株)NKB
 越沼 義之 (株)エスプレス広告社
 大橋 恒夫 (株)近宣
 田中 誠一 (株)ユニシン広告社
 宮川 洋 (株)オリコム
 足立 義人 (株)ユニアド社
 大森 雄二 (株)大宣
 練木 裕二 (株)山水広告社
 須藤 悠太 (株)日交
 小坪 厚 (株)スバル広告(株)
 村西 哲郎 (株)アドスマイル
 五島 剛 (株)シエール東日本企画
 中村 歩 (株)シエール東日本企画
 田口 俊 (株)シエール東日本企画
 三神 正彦 (株)シエール東日本企画
 紫藤 裕二 (株)シエール東日本企画
 交通媒体本部

各種委員会を開催

各委員会では、第1回理事会(6月13日開催)において選任された委員による委員会を、左記の通りJ企会議室で開催した。

◆総務委員会 7月9日(火)

※「各メディア委員会」

◆サインボード・安全委員会 6月18日(火)

◆車両メディア委員会 6月20日(木)

◆駅メディア委員会 6月20日(木)

各メディア委員会では第1回目を開催し活動方針の確認、交通広告の現況等について意見交換が行われた。

また、分科会の組織作りでは、座長・副座長を選出し、媒体社と広告会社が一体となって今後の課題等に取り組んでいくことが確認された。

各分科会の座長・副座長には

・サインボード・安全分科会

座長 稲川 一氏 (株)文宣

副座長 中橋 光氏 (株)大晃

副座長 関 学氏 (株)星広告

副座長 高橋源治氏 (株)共和企画

・車両メディア分科会

座長 笹川英哉氏 (株)オリコム

副座長 池谷裕志氏 (協立広告(株))

・駅メディア分科会

座長 杉本純一氏 (協立広告(株))

副座長 宮川 洋氏 (株)オリコム

・デジタルサイネージ・メディア分科会

座長 増田吉郎氏 (株)電通

副座長 大森 翔氏 (株)博報堂Dマメディア

各氏が選任された。

意匠交換に関わる作業規制

JR東日本では、お盆輸送に伴い管内の列車の安定輸送を図るため、「作業等調整期間」が設定された。この期間中の広告に関する作業等について、規制期間中は意匠交換等の作業を行わない事としている。

「お盆輸送作業等調整期間」

■東京・横浜・八王子・大宮・千葉の各支社

8月9日(金)22時～19日(月)9時

※詳細はJR東日本メディア(株)

設備管理部 安全指導課

(電話) 03・5391・1246

会員名簿変更

・代表者変更

(株)東武百貨店(ニッテイ事業社)

(6月1日付)

賃貸事業部長 櫻井 裕氏

(株)アド近鉄 (6月20日付)

取締役 交通メディア本部長

城戸 正幸氏

(株)ペリエビルサービス (6月27日付)

代表取締役社長 大川 信典氏

(株)ミネアソシエーツ (6月27日付)

代表取締役社長 森本雄司氏

(6月27日付)